

リモートID機器等の開発の流れ(開発の申請から検証環境での試験終了まで)

リモートID機器等を開発する事業者様

航空局

【申請書名】
(別紙4) リモートID公開鍵・アプリ認証コード通知申請書

航空局へ申請書を提出

申請

申請書の内容を確認

申込を受け付け書受領後、原則20営業日以内に対応致します。

検証資材を初期設定

検証資材の提供

検証資材を準備

- 事業者独自の観点による試験に加え、航空局の提供する資材に記載された試験観点に基づく試験を実施すること。
- リモートID機器等に求める要件を満足することを確認すること。

検証環境での試験

必要に応じて
航空局へ問合せ

検証環境での試験結果を確認

検証資材には、以下が含まれます。
・検証用の国アプリダウンロードURL
・検証用アカウント
・検証用機体データ
・検証用のアプリ認証コード
・署名検証用公開鍵
・クライアントID 等

ここで言う試験レポートとは、リモートID機器又はメーカーアプリが技術規格書に適合していることを自ら確認検証した書類を言います。

検証環境における
試験レポートを作成

【次ページへ進む】
商用環境への接続手続き

リモートID機器等の開発の流れ(検証環境の試験終了から商用環境接続まで)

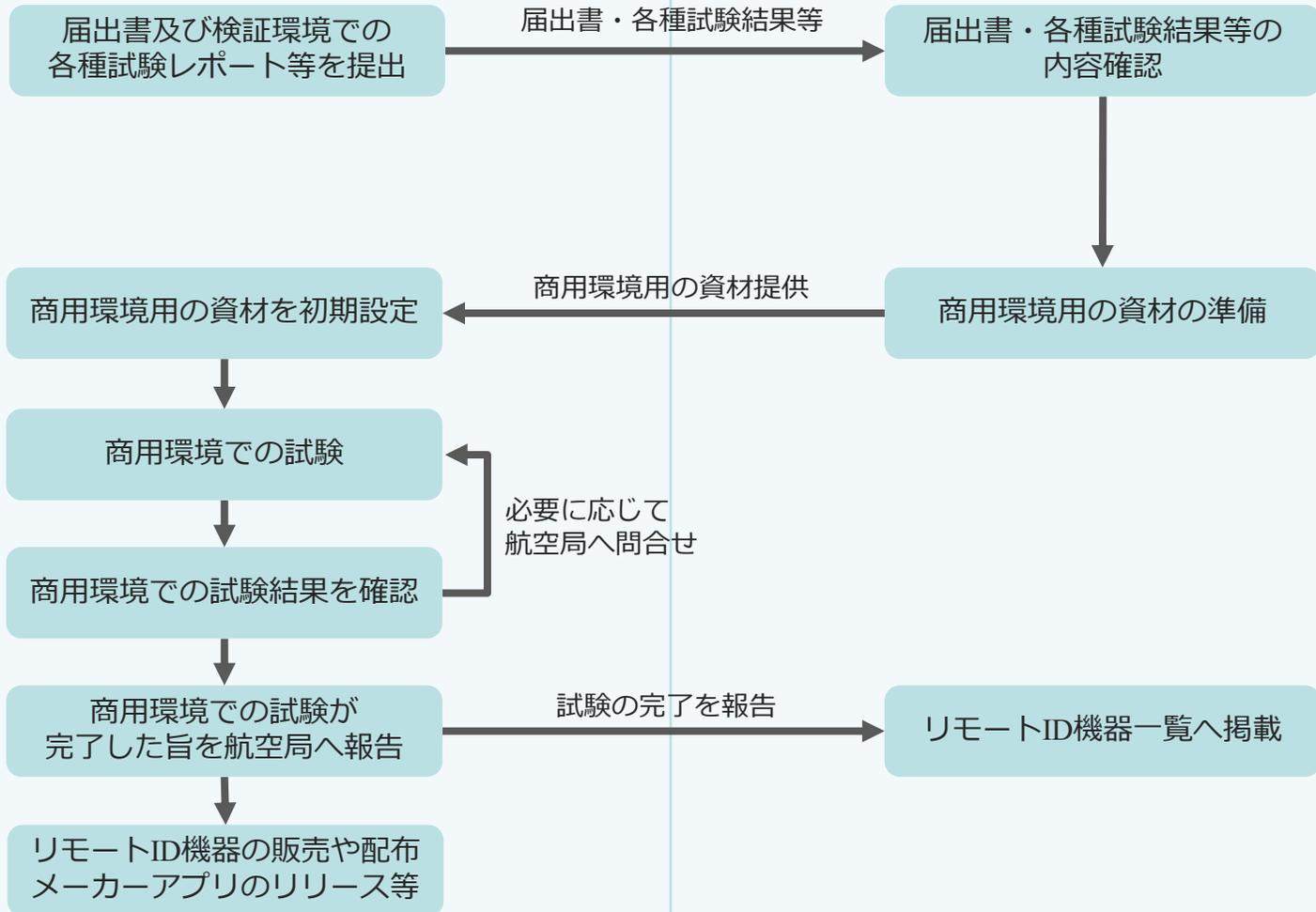
リモートID機器等を開発する事業者様

航空局

- <提出物>
- ・ (別紙3) 自己検証結果・型式情報等届出書
 - ・ 各種試験レポート
 - ・ 機体情報提供用紙 (※注)
- ※注
リモートID内蔵型機体の場合のみ。

- ・ 試験に使用する機器、アカウント、機体登録手数料等は事業者が負担すること。
- ・ 事業者独自の観点による動作確認の実施をすること。
- ・ 航空局が提供するリモートIDアプリ (DIPS APP) による動作確認の実施をすること。

- ・ 試験終了後速やかに実施のこと。
- ・ 完了報告のみで構いません。



- 内容確認完了から資材提供までに要する期間は、開発対象の種類によって異なります。
- 【リモートID機器のみの場合】
原則3営業日以内
 - 【メーカーアプリを含む場合】
原則20営業日以内

- 商用環境用の資材には、以下が含まれます。
- ・ 検証用のアプリ認証コード
 - ・ 署名検証用公開鍵
 - ・ クライアントID 等